

## 鮎川保育園三者協議会（第6回）会議録

### 1 日 時

平成26年5月10日（土） 午前10時00分～午前11時37分

### 2 場 所

鮎川保育園

### 3 出席者

- ・ 鮎川保育園保護者  
会長 他23人
- ・ 山善福社会  
山本理事長 他3名
- ・ 保育幼稚園課  
中井課長・小西参事・吉田課長代理・前田係長・窪田副主幹

### 4 案件

- (1) 4月からの保育園運営について
- (2) 民営化に伴うアンケートの結果について
- (3) その他

### 5 発言要旨

( 市 ) 改めまして、皆様、おはようございます。

本日は、お忙しい中、三者協議会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、早速ではございますけれども、第6回の鮎川の三者協議会を始めさせていただきます。

これからの議事の進行については、議長であります中井保育幼稚園課長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(議 長) 改めまして、皆さん、おはようございます。

着席して進めさせていただきます。

それでは、お手元にお配りしております会議次第に沿って、進行

させていただきたいと思います。

まず、1つ目の案件でございますけれども、4月からの保育園運営についてでございます。

保護者の方からご質問やご意見等があるというふうにお伺いしておりますので、お願いいたします。

(保護者) まず、3月の修了式についてお尋ねしたいのですが、公立の修了式本番を園長及び主任の2人は、自分のところの卒園式と重なっていて見ることができないことを、3月8日の三者のときに報告していただけなかった理由を教えてくださいませんか。

修了式に出席した保護者から園長と主任が出席しなかったけど、4月から大丈夫かと聞かれたので、よろしく申し上げます。

(法人) 前年度の修了式に参加することができなくて申し訳ありませんでした。先ほどSさんがおっしゃったように、私が以前、居ました「さんすい学園」と主任が居ました「おとのは学園」の卒園式の日が重なっておりまして、出席できないことは分かっていたのですけれども、ちょっと報告することができなかったことに対してお詫びいたします。

内容については、把握をしないでおこうと思うつもりは初めからなくて、練習のときから参加もさせていただいて、引き継ぎ保育士全員が、やはり修了式を見られるようにということで、全員が練習を順番に見られるような形をとるとともに、窪田先生にも許可を得て、ビデオの撮影をさせていただきました。

本当に子供たちの成長が分かって、そして、また、新たな出発が始まるのだなという温かい修了式をされていたというのは、すごくどの職員も印象に残っております。

それを全て記録としても残しております。

当日は、私たち管理職が参加することができなかったのですけれども、豊原学園の方が別の日の卒園式でしたので、その職員を参加させていただきました。

その職員から話を聞いたり、写真を撮った物を見せてもらったりとかして、内容自体の把握にできる限り努めてきました。

今年度の卒園式につきましては、その内容をもとに、また、窪田先生も3月まで残ってくださいますので、お話、相談をさせていただきながら、卒園式に関してはさせていただきたいなと思っております。

すみません、出席できない理由をお伝えしてなかったのがあれだ

ったのですけれども。

(保護者) そうですね。事前にそうやって言うてくださったら、別に4月からずっと見守ってきた子供たちの卒園式に出たい気持ちはよく分かるのですが、ただ、4月からの不安があるというのを訴えていたのにも関わらず、本番になって事前に伝えてもらえてなかったのも、不安と不満とが、やっぱり、そこに出てくると思うので、事前に報告は必要だったと思うので、今後もよろしくお願いします。

続きまして、看護師についてです。

看護師のことも3月8日の三者のときに、看護師について尋ねたときに、新たに雇った看護師と言っておられていましたが、実は、豊原学園に在籍している看護師を配置する予定だったのですよね。一度も来られなかったみたいですが。その3月8日までの間に、一度も来られなかったのも、3園の看護師が5～6人ですかね、3月1日から8日の間にローテーションに入っていたのに、なぜ、そこも実は、専任看護師が一度も来てないのですというふうに伝えてもらえなかったのでしょうか。

それで、3月16日までは、色んな看護師がローテーションに入っていて、3月17日から専任の看護師のUナースが入ってこられましたが、結局は3月27日までしかおられず、28日から病欠され、現在まで看護師が不在の状態であった。

また、現在まで週4日、5、6人のナースがローテーションで入れ代わり立ち代わり入っておられていますが、専任の看護師を置く気はなかったのでしょうか。どうですか。なぜ報告してくれなかったのか、専任の看護師についてどう思っているのかを教えてくださいませんか。

(法人) もちろん、専任の看護師を置くということで、私どもの方で、元々はT看護師という保育経験のある方が入っていただくということで、3月からということで準備を進めていたのですけれども、ちょっと体調不良になって、来られないということが急遽、分かったので、それではということで、Uさんという方をもう一度、専任にさせていただいたのですけれども、その方もちょっと腰が悪くなって、休まれたということで、なかなか1人、2人、3人ぐらい配置させていただいたのですけれども、なかなか長続きがしなかったということで、改めて先般、Sさん(保護者)ともお話しさせていただく中で、法人のほうから経験のある者を配置転換するというので、来週の12日から一応、今まで保育経験のある「おとのは」にいた看護師さん

を配置するということにさせていただくということで、決して看護師さんを置かないということではなしに、移管条件にもなっているので、置かせていただきたいと思います。

ただ、初めての職場なので、合う合わないとか、そういったことがあったり、たまたま腰痛になったりとかということはありませんでしたが、そんな中で、私どもの法人の中で1名、12日から専属で配置するというように考えています。

(保護者) まず、その3月8日のときに、その専任看護師が来られていないことを報告すべきだったと思うのですが、なぜ、そこも黙っておられたのですか。

(法人) 3月8日のときというのは、来ていないではなしに、T看護師さんを配置するというので、その方が来ていただくということで。

(保護者) 来ていただくって、3月1日からナースは来ているはずなのですね、合同保育に。でも、結局は、3月8日までの間に来たのは2回だけで、あとは、他のナースでローテーションを組んでいますよね。

(法人) ですからそれは、3月の初めのときにT看護師さんを配置させていただくということでこちらも思っていましたし、ところが、ちょっと体調不良というよりも、何か、ちょっと風邪か、何かを引かれて…。

(保護者) 3月8日の間まで、ずっと来ていないじゃないですか、毎日、毎日、来ていませんよね。

(法人) ですから、3月から8日の間の中に、例えば、休みも入れて、その間、何日か休まれて、今、体調不良で休んでいますということも8日の時点で言えなかったということについては、申しわけないと思いますけども、その時点でT看護師という方に来ていただいて…。

(保護者) T看護師が来られたのは3月17日からなのですよ。3月8日ではないので、そこはちょっと話がおかしいと思うのですが。

(法人) Uさんが3月17日です。

(保護者) でも、毎日では来られていませんよね。

(法人) ですから、その8日の時点で、ずっと来ていないとか、休んでしまふとかというふうに思っていなかったもので、たまたまそういう報告をしていなかったというのはあっても…。

(保護者) だから、T看護師が3月1日から毎日来られていないので、今は違う看護師が代理でやっていますというふうな言い方をすべきだったのに、その報告が保護者に対してなかったじゃないですか。今は、体調不良なので、別の看護師で代役を立てていますというふう

な言い方をすればいいのに、そこの報告がなかったと思うのです。

それに、さらに、新たに雇った看護師というふうに言っておられま  
すけど、実は、理事長が在籍しているところ（豊原学園）の看護師だ  
ったのに、新たに雇った看護師という言い方もおかしいし、どうなっ  
ているのだろうと思って。

（法 人） 要は、看護師さんは必須ですので、当然、配置させていただき  
たいということで考えております。

それと、鮎川保育所においては、元々、法人の方では、鮎川を希望  
するT看護師という方が保育経験もあって、年齢的にもしっかりした  
経験があったので、その方を配属するということで決めていました。

その方が、当然、病気をされて、私が聞いている範囲では、ちょっ  
と子供たちに移ったりしてはいけないので、そしたら大事をとってお  
休みしていただくということで、3月8日のときについては、そうい  
う認識を持っていました。

その方が、お休みをしていますということの報告をするということ  
については、そこまでは思っていませんでした。

それと、あと、T看護師がしばらくお休みということで、それ  
では困るということで、U看護師という方を改めて配置させていた  
きました。

ところが、その方が何日か勤務をしていたら、腰痛ということでお  
休みされたので、それでは役所の方からも困るということもあつたの  
で、法人の方で、しっかり常駐できる看護師さんを回せないかとい  
うことも踏まえて、検討させていただいて、1人専任をさせていただ  
いたと、それが12日から来させていただく、その看護師については、  
保育看護の経験もありますし…。

（保護者） そこじゃなくて、3月8日のときに、新たに雇った看護師でもな  
いのに、新たに雇った看護師と言っている時点でおかしいし、何で  
ローテーションで回っていたのに、専任看護師がいない、引き継げ  
ていない状態なのに、さも引き継いでますみたいな言い方をしたこ  
とに不信感を抱きますって言っています。

それに対して的確な答えが出ないのであつたらそれで結構です。

それで、5月12日から新しく専任看護師が来られますが、この方  
は週5日、週6日勤務ですか。来週から入って来られる新しい看護師  
さんは。

（法 人） そういうふうな報告しろとか、信用できないとかというのじゃな  
しに、やっぱり人のいわゆる働き方とか、その雇用の関係というの

は、当然、相手があつてのことですし、それぞれ、やっぱり初めての環境にもなるので、確かに看護師さん必須義務ですよということで、当然、法人の方でも考えています。でも、例えば、休んだり来てなかったり、代替の保育士が入っていたり、当然、法人の中で出来ることについては、させていただいていると思うのです。だから、そこで、何か一つをもって、どうやこうや報告やというような、そういう論調でいたら、実際的に、やっぱり一番大切なことというのは、子供にとって、何が一番大切かと…。

(保護者) 公立を引き継げてないのに、どうやって、子供を把握できていないじゃないですか。

(法人) この三者協議会も、子供にとって、何が一番大切かということを議論する場であつて、保護者の思いがとか、保護者に対して報告がとか、園長が、例えば、その修了式に来ていないから、その報告がなかったとか、そういうことが子供にとって本当に、どういう点で大事なのですか。

(保護者) じゃあ、公立を引き継ぐのが全くできないじゃないですか、じゃあ。把握でないのにどうやって引き継ぐのですか。

(市) いいですか。最初に、市からもちょっと保護者の皆様にはちょっとお詫びを申し上げたいと思います。

多分、ご不安になられたと思いますし、本当に、ご迷惑をお掛けしたと思っております、申し訳ございません。

その報告が遅れた部分というのも、少し体調不良ということもありまして、実際には復帰される予定が元々ありました。ちょっと遅れたのですけれども、掲示の方もさせていただいたり、遅れましたけれども、法人にもお願いをさせていただきました。

その間、法人さんの方の看護師さんが各施設にいらっしゃいますので、何とか、鮎川の方の引き継ぎもございまして、お願いしますということでしていただいて、その間、先ほど腰が悪くなった看護師さんがおられたり、あと、その後も看護師の雇用という形で手配をしていただいておったのですが、現在に至っているという状況でございます。本当にご迷惑をお掛けして申し訳ございません。

(保護者) すみません。話は戻りますが、園で、熱が出たときに、保健室に寝ていたのだけど、その保健室には看護師さんはおられないし、誰もおられなかったということで、園長先生が仕事を隣のお部屋でされていたということは聞いているのですが、看護師がいないという状況の中で、それは適切な判断だったと思われませんか。

熱が何度だったというのは、私は知らないのですが、看護師がいないと。

それで、ベッドの向きと園長さんが座っている机と、常に顔色が確認できる場所ではないのじゃないかなとは思いますが、その看護師がおられないというあたりで、保育士自身も多分、救命救急の講習にも行っていますし、応急処置のことも保育所は全員できる状態ではあると思います。

熱があったり、色んな感染症になったときに、保育士がどうするかというのは、多分、それぞれがシミュレーションで持っているのかなと思うのですが、子供が1人で居たと言う状態が本当なのであれば、それは適切な対応だと思われませんか。

(法人) まず、看護師を民営化については置くということが必須になっているので、それが置かれてない、だから抜けているでしょということに対しては、それは申し訳ないというのは、まず、これはお詫びさせていただきたいですし、この12日からは、当然、法人内で経験のある者を配置させていただいて、できる限り空白のないようにはさせていただきたいと思うのです。

それと、いわゆる保育看護に対する看護師の適正な配置及び働き方についての考え方については、基本的には、元々、看護師さんを保育所に置いているというのが昔なかったのです。

(保護者) そうですね。その辺も多分、全箇所は置いてないので。

(法人) 元々、公立も1人の看護師さんで、何人かを巡回するというところで、ですから、いわゆる熱の出ている子を看護師さんが見るのがいいのか、保育士さんが見るのがいいのかということに関しては、これはもう子供にまつわる当然、保育に関わる者としては、看護師さんであっても、保育士さんであっても、栄養士さんであっても、調理師さんであっても、また、パートの方であっても当然、子供の怪我や病気や、急変であったりとか、もしくは、熱も上がり下がりがあったりとか、いろいろな状況があるわけですが、そんな中で、保育所で子供を預かるということは、当然、朝、お受けさせていただくという、一番最初の入り口が当然あるわけですし、そのときに熱があつて、朝からしんどい子供を保護者の方々が預けるわけがないわけですから、その信頼関係のもとにお預かりさせていただいて、そして、その保育中の中で、例えば午前中熱が上がったり、色々なことがあつたとしても、それはその日の朝になつたことじゃなしに、やっぱり前日なり、前々日なりに、やっぱり予兆があつたと思うの

です。

ですからそれは、保育士も前日、前々日の子供の状態であったり、保護者の方々も、お家での子供の様子というものを見守った中で熱が上がった子供がたまたまいたと、でも、今の現状でやっぱり電話をすぐかけて帰ってきてくださいって言えますか、なかなか言えないのが現状の中です。

(保護者) 今までは、熱が出た子がいたら、看護師さんが、その場所に来て、今まで見守ってくれていたのですよ。

ただ、現在は、ローテーションで回っている、それも週に4日ぐらいしか居ない状態で、子供の把握はできませんよね、毎日、入れ替わり、立ち替わりナースが来ているし、子供の把握ができないし、そこで、一人ぼっちで寝かされていた状態で、それは適切なのかどうかを聞いているのですが、それは適切なのですか。隣に居るから、別にいいのか、どうかというのを聞いています。

(法人) 例えば、それは、よっぽど医療従事者で医療経験がある方でも結局、ぱっと子供も見ても既往歴が分からない状態で、子供の様子を見るのはね…。

(保護者) だから、ローテーションで回っているから、既往歴もどうかも把握できないじゃないですか、そうでしょ。

週に1回しか来ないのでですから、だから、把握するために専任看護師を置いてくださいって言っています。

(法人) 望ましいのは分かりますけども、今、お母さんがおっしゃっている、それが本当にどうなのですかということに対しては、じゃあ、看護師さんが月曜日から金曜日までの週5日の8時間ですよ、そしたら、土曜日があったり、間の日が抜けていたらって、当然、空白の時間も当然あるわけですよ。

保育所の開所時間って、11時間あるわけですから、その中で、11分の何時間を看護師さんが見れるのか、でも、どちらにしても、空白のときは、誰かが見なければいけないことになってくるわけですから、別段、公立の看護師さんが、特に、民間と違うのは、業務の順の中で、僕も初めて教えていただいたのは、アレルギーの関係をやっぱり看護師さんが一手に引き受けているということなんですけども、民間の場合はやっぱり栄養士さんだったり、給食室のほうでやっぱりその部分をやっているんで、ですから、民間の看護師さんの使い方と、公立保育中の看護師さんの使い方というのは、ちょっと違ってくるものがあるのかなと…。

- (保護者) 引き継ぐって言っていますよね、5年間は。  
私立は違うかも知れませんが、5年間は引き継いでください。  
それを条件に移管を受けたのですよね、鮎川を。違いますか、だから、引き継ぎできませんって、最初から言っていたらいいですよね、3月のときに、引き継ぎできませんと言っていたら、それだったら、こんな話は、今、出しません。
- (法人) だから、あまり報告しなかったとかね…。
- (保護者) 報告してください。
- (議長) 実際のところどうだったのかを。
- (法人) 実際のところ、看護師が、ローテーションで入ってくれているときと、どうしても都合がつかなくて不在のときがあったのは確かです。お子さんが体調を崩したりとか、気分が優れなくて、保健室で寝ていたり、遊んで過ごすというのは、保育園内ではよくあることです。  
看護ルームに来るって、子供の気持ちとしたら、自分がしんどいっていう、いつもとやっぱり気分状態も違いますので、そばにいて一緒に遊んだりだとか、寝ている子供たちのそばに付いてと言うのは、もちろんやってきました。  
ただ、電話とか、どうしてもすみません、事務所の方に、私が1人でいたりする場合に関しましては、今はちょっと違うのですけれども、電話が事務所で1本しかとれなかったりとかする場合は、子供たちが寝ていまして、その電話を取るのに、ちょっとその場を離れて電話を取る、その内容によっては、保護者様の連絡であれば、各クラスにそれを伝えるとかということとかで、確かに、電話をとる際に出ていたりだとか、そういうメモをするために、その場を離れたということはあったかも知れません。  
ただ、私も、ここにいる各職員も、看護ルームに、1人で子供を寝させたりだとか、遊ばせたりだとかというのは、絶対そんなことは考えていませんし、そういうことはさせません。  
お子さんの様子によっては、どうしても1人で遊びたいとか、誰かがいることによって、ちょっと気分が高ぶってしまって、落ちつけなかったら、少し、ちょっと離れたところで、看護ルームの様子を見たりということにはさせていただいています。  
それは決して、子供の気持ちを置き去りにしたりだとか、自分の業務が忙しいから1人でいてということでは全然なくて、その子供が今、何を求めているのかということが一番大切にしてやってい

るのです。

もしかしたら、その電話の間だけいなくて、お子さんが1人寝ていたということはあったかも知れないのですけども、基本、私たちの考えとしましては、そこなのですけれども。

(法 人) 補足させていただいたら、集団保育の中で、1対1で保育をしないといけないときというのは当然あるのです。これはどんなときでも。本当に、飛び出しがあったりとか、本当に慣れてない子供がいて、そのときは、もう本当にその緊急なのを応じて、これはもう絶対離れられないというのがありますし、でも、ずっと100%全部の子供たちをずっと見れるというのはもう無理です、それは。

ですから、例えば、看護ルームがあって、そこに来てくれる子供がいます。

それは、かなり本当に、急変していたりとか、容体がおかしいという場合は、確かに、ずっと、ついついとかないといけないけれども、でもやっぱりある程度、熱が高い、でも、食欲はちょっとあるとか、喉は渴くとか言っている子供だったら、ちょっと寝ていたら大丈夫という判断をしたら、やっぱり1人でいられるときには1人で寝て、園長であっても、保育士であっても、やっぱり重要度というのは当然あるので、それは、やっぱり、その時々的重要度に応じて、クラスの方を大事にする場合もあれば、色んな時々がありますので、看護ルームに来たから1対1でずっと、四六時中いますということにはならないと思います。

(市) 4月に入ってからのことだと思うのですが、引き継ぎの関係で、看護師が見させていただいていますので、そのときにはこういう対応をさせていただいたりでありますとか、あと、中に事務所のほうに人というか園長先生がいらっしゃったりとか、お子さんの状況で園長先生にお任せしているという状況もありますし、ほかの業務で引き継ぎをしているということもありますので、そういう部分では、当日の引き継ぎ保育の関係の方でも、しっかりと連携はさせていただいております。

(保護者) 週に1回、看護師が来るだけで、公立の保育内容とか看護内容を引き継げると思いませんか。

(法 人) それは無理です。

(保護者) そうでしょ。ローテーションで回っているのですからね。それで公立の看護師業務の内容を引き継いでもらうのに、子供の既往歴も把握できない。



(法 人) …、そのことに対しては、申し訳ございませんでした。

(保護者) 始めから言ったらいいですよ、申し訳ございませんって。

(議 長) やっぱ、その実際に、熱が出られて、公立のときでも、熱が出られて、保健室におられて、看護師さんがずっと付いていて、時たま、席を外す場合もあったと思うのです。

ただ、皆様方、保護者の方がやっぱり不安に思っただらっしゃるのは、当初、看護師を配置するということが、実際に配置できてなかった現状がある中で、こういう場面を目撃したので、余計にどうなっているのかという…。

(保護者) では、一つ質問いいですか。所長、熱が出ている子がいたときに席を外すことはありますか。

( 市 ) 看護師が基本、見ていますが、いない時間とかは、私が代わりに必ず見るようにはしています。

(保護者) 子供は、熱が出たときに、色んな形で変化します。

その子によって、急にひきつけを起こす子もいるし、嘔吐する子もいるし、私は、席を外すということはあり得ないと思います。

それは、電話、もちろん事務仕事が入ってくるので、園長先生ができることではなかったと思うのです。そこを誰がカバーできるのかという体制が整ってないことに不安を言っているのです。

理事長さんが、誰が子供とかかわっても、その子供にとって一番の利益を追求するのが保育やから、それは当たり前やと思うのですね。だから、看護師を絶対とか言っているのではなくて、園長がそこで熱を出した子供を、確実に安全にお預かりできている状況にあったのかということで、園長が無理なのであれば、誰に連携をとればその期間は見てもらえたのか、そして、それを連携がとれないのであれば、すぐに看護師を配置しないと保育が成り立ってないということだと思うのです。

大事な電話をしている間に、その子供が落ちていたりしたときの責任は、誰がとってくれるのですか、その責任は。

(法 人) そこを例えば、看護ルームに入った子供たちは、四六時中、絶対見るということを本当に断言できるのですか。

( 市 ) はい、夕方も必ず1人つくように、居残り保育の時も一人つくようにしています。どうしても…。

(保護者) そういうことを引き継いでなかったのですか。

(法 人) ですから、それは公立の保育所は、全部そうやって、できているのですか。

(保護者) 公立保育所じゃないと思うのです。

(市) ですので、確かに、先ほど、ちょっと課長の方から席を外すというのが、もちろん業務で何時間も外すとかではなくて、少し外されるという意味で…。

(保護者) それでも、少しとかでも、そういうことじゃないと思います。

やっぱり体調が悪くて、そこに来ている、その子は普通の状態ではないと思うのですね。

普通の状態かも知れないけど、保育士が普通の状態じゃないと思って預からないと、大変な危険な事故につながるものがたくさんあります。

それを私は、園長先生自体も顔色の把握を常にできる位置にいたのかというのも、本当だったら、もう形にして本当は見せてもらいたいけど、でも、先生もそんなつもりはなかってっおっしゃったし、話を聞いていたら、きっちり子供を見てくれていると信じているので、別にそこまでは聞かないけど、でも、公立でもって、今、おっしゃったので、私は、公立でもそういう保育はなされていたのかなというふうに思ったので、今、質問させてもらったのですけど。

(議長) 私が言ったのは、長時間ではなくて、ちょっとした間、交代のすき間とか、そういう時間はあるのかなというふうには思っているのですけど、そういう…。

(保護者) それはでも、保育ルームでも同じだと思うのです。

保育ルームから担任が出る、出て保育ルームが空になるのも一瞬ならありだっという、今だったら、そういう会話につながっていくと思うのです。

そうじゃなくて、連携というのは、きっちり、その保育士が、今どこに向かっていくので、この子たちをしっかりと見ていてというのを連携と言いますよね。

でも、そういうことを1対1で、関わらないといけないときがあるとおっしゃったじゃないですか、理事長さん。

それは、絶対そうだと思うのです。

病気の子だけじゃなくて、色んな子供たちの葛藤が毎日の時間の中であって、1対1で関わっているのであれば、じゃあ、あとの25名、26人クラスだったら、25名は誰が見るのかというのは、きっちり伝えておきますよね、もう1人の保育士に。今、この子と関わるから、ここの保育はお願いしますというふうに、そうやって常に保育が進んでいるのであれば、そのしんどい子を、1人でちょっと目

を離していた、電話のときにちょっと目を離していたときがあるかも知れない、こうしていたときに、ちょっと目を離していたときがあるかも知れないでは、保育にはならないと思います。

だから、病児保育はやってないじゃないですか、ここは。

(法 人) でも、そこを、その看護ルームだけに関わらず、それを言い出したら、本当に、今、おっしゃったように、保育、日常保育まで全部してしまうわけですから、例えば、本当にけがしたときに見てないときもあるじゃないですか、実際に。だから、その見てないことがいけないのかというふうに、今の話を追及していったら…。

(保護者) あかんとは言っていませんよ。

連携をしているのかということです。

(法 人) ただ、その看護ルームに来たから、じゃあ、四六時中、本当に付けるのかと言ったら、そういう人的…。

(保護者) だから、今まで付いていましたって言っていますよね。

(保護者) 付けないのであれば、早急に、もう月曜日から配置されるということなので。

(保護者) それに、この子が熱を出したときに、担任の先生が入れ替わり、立ち替わり様子を見に来ていたと言うのですよ。そしたら、担任の先生が入れ替わり、立ち替わり来ていた間、ほかの子たちは、どうしていたのだろうかというのが、すごいあって、だから、看護師を置いてないからって、その1人の子を見ていたがために、ほかの20何人かが置いてきぼりになっていたことが、時間があるということでしょう。看護師がいてないから、だから、様子を見に来ないといけなかったという状況なわけじゃないですか。そこもおかしいなと思いますしね。

(法 人) でも、今のおっしゃることが当然、分かるのですけども、そのために看護師さんを置いてほしいというのも、これも、私どもは、別に看護師さんを置かないと言っているのではなしに、置く努力もさせていただくし、また、12日からもさせていただきたいと思うのです。

ただ、人的配置について、今の例えば、国の基準であったり、何対1とかという対数の配置だったりとかいう基準でやっぱり民間企業というのは、運営をせざるを得ないわけですよ。その中で保育の隙が…。

(市) あの多分、基準を言っておられるのではなくて、例えば、今、保育室に1人しか保育士がいなくて、子供たちがいます。

その保育士が席を外す場合、その保育室から出る場合は、誰かにきつと声をかけて、ここちょっと、今ここへ行くから、この保育室を見ててと言って声をかけて、入ってもらって、出て行って、また、帰ってきて、多分、保育されていると、今も、そういう連携は、絶対していると思うのです。

ただ、そういう事例があったので、今後、そういう見守りの体制を少し考えていただきたいということをおっしゃっていただいていると思うので、また、その辺は少し、ご配慮いただけたらと思いますので。

(市) 子供に支障がいかないように、次の人が来るまではうちの看護師が、極力、園長先生と連携をとって、保育室、看護室にはきちんと入るようにはしているのです。

でも、どの看護師が来られても、同じことを何度もお伝えしながら、いざというときに対応してもらえるようには、努力させてもらっているので、また、来週からこられるということで、また、一から全部お伝えしようということで、今、また、まとめていますので、よろしくをお願いします。

(法人) お手数をお掛けいたしますけれども、よろしくをお願いします。

(保護者) 5月12日から来られる看護師さんは、週5日入られるのですか。

(法人) 基本は、月曜日から金曜日までの勤務になります。

おとのは学園の看護業務にあたっている者ですので、おとのは学園の方の看護業務の引き継ぎ等も、また、ちょっと出てきますので、その辺は、うまく調整をとりながら、勤務を考えています。

プライベートなことなのですけれども、次に来る看護師も子供がおりまして、どうしても、学校行事に参加しないといけない日程というのが、ちょっと事前に分かっている分に関しましては、その時間帯、ちょっと不在になったりだとか、ローテーションで回る場合もありますので、今よりは、充実も、もちろん、させていただきますけれど、そういう形で配属させますので。

(保護者) 不在になる時間が分かっていて、誰もいないときは空でもいいのですが、どなたかの子供がルームに来たときに、もしその子が高熱とかになるのだったら、法人の連携が取れるというのであれば、どなたかを寄越してもらってというのは変ですけど、あてがってもらえるようなことも、ちょっと考えたいほしいなと思うのです。

さっきから、皆さんがおっしゃられていると思うのですが、ずっと看護師さんがいないというのは、先ほど必須と言われているので、

必須ということは努力しますじゃなくて、本当に置いてほしいのですけど、それが無理ならば、言われていたとおり、先生じゃなくていいので、もし、自分の子が高熱を出したら、誰かに見ておいてって、絶対、言うじゃないですか。

今、さっき理事長が言われたことが、ちょっとショックだったのですが、100%は見られませんと、子供を100%見るということは絶対できませんと言われたのですが、できないのは分かっているのですが、見るようにしますというところか、見られませんと言い切られるのと、全然、心情的に違うので、普通に、寝ていても亡くなる子がいらっしやる中で、しんどいから部屋（保健室）に来ているので、やっぱり、そういう子は、ちゃんと、どなたかの目が届く範囲に置いておいてほしいなと思うのです。それをお願いします。

(保護者) 次です。

朝夕の合同保育のときの、保育士の数が少ないときがあったのですが、朝夕の職員配置、合同保育のときの、職員の配置人数を教えてくださいませんか。

(法人) シフトを担当していますT主任の方からお話させていただきます。

(法人) 現在の勤務状況ですけれども、7時から7時半までの間に0、1歳で1人、幼児の2歳から5歳で1人、7時半から8時までの間に、乳児が2人、幼児が2人、8時から8時半の間に、乳児が3人、幼児が4人になります。

8時半から9時の間も、ここでクラスが分かれますので、0歳で2人から3人、1歳で2人から3人、2歳は3人、3から5歳が、4人から5人、9時に、0歳が4人から5人、1歳が4人から5人、2歳が、各クラスに分かれますので、2人から3人、3歳から5歳で、7人から8人で、延長保育を担当します職員が9時半と10時に1人ずつ来ます。

この中には、早朝のパートをしてくださっている、7時から9時までの職員と、7時半から9時半までの2人の職員を含みます。

夕方が、5時以降、0歳が2人から3人、1歳が2人から3人、2歳が3人から4人、3歳から5歳が5人から7人、6時以降が0、1歳で2人、2歳から5歳で4人から6人、6時半以降が、乳児も、幼児も合同になっていまして2人。夕方のパートが4時から7時までの間で、その日の職員の勤務状況によって、2時間から2.5時間で4人から6人の職員に来ていただいています。

現在はこういう状況ですけれども、4月当初は新入児の受け入れ

で、どうしても泣いたりということとかがあって、1人に対して1人取られるということとかもあって、予定では、職員を配置していたのですけれども、クラスが分かれた際とかに、うまく職員が配置できていないことが実際にありました。

そういうこともあったので、職員会議等で現在、状況を把握し合って、その時々に応じて人数調整をしていますので、また、今後、状況が変わっていけば、この職員体制についても、多少の変化は出てくることもあるとは思いますが。現在はそういう状況です。

(保護者) ありがとうございます。

次に、4月14日に5歳児のみで竹の子掘りがありました。

そのときの道中、山でしゃべったら大きな動物に襲われるよという注意を何度かされたそうです。その発言によって山への恐怖と保育園イコール襲われるという連想で、うちの子は体調不良を訴えたので、そのことについて理事長さんと話をさせていただいたのですが、そのときにそんなくだらないことで呼び出さないでほしいというふうにおっしゃっていましたが、この動物に襲われるようなところに行かれるのか、それで、動物に襲われると言われたことに対して、子供が体調不良になったことは、すごくくだらないことなのか、その発言が適切だったのか、不適切だったのか、どう思われますか。

(法 人) 発言のことですか。

(保護者) その動物に襲われるという竹の子掘りに行ったら動物に襲われるというその発言は、適切だったと思いますか、不適切だったと思いますか。

(法 人) お話を聞いて、2名の方々が、お子様が怖い恐怖心を持ったとか、あと、ちょっと竹の子のアレルギーが出て、引率で看護師さんがいないから不安でしたよという話を、そのとき、ちょっと前にお話を聞かせていただいて、子供の心情について、言葉がけの部分で、確かに怖がり過ぎたというのであれば、配慮が足りなかったなというふうに思っています。

ただ、アレルギー児のお子さんについては、竹の子のアレルギーは実際あるのはあるのです。

でも、竹の子山で竹の子を触るのも、手袋をはめて触ったというので、本当に触ってアレルギーでというのも、実際、今までの経験の中ではなかったのです。ですから、その点については、帰ってちょっと湿疹が出て、薬を飲んで一応、治まったのですけれどもと言われたのですけれども、確かに、それは事前に把握しておかないといけないことだ

と思いますし、それは本当に申し訳なかったと思っています。

(保護者) 今まで保育所には、女性ばかりで、男性に対する免疫がないのもあるのと、あと、4月1日の進級式で、理事長は挨拶してないので、初めて会う子供たちもいたと思うのです。

初めて会う男性に対しての恐怖と、動物に襲われるという恐怖のダブル恐怖があるので、もう少し、今後は、子供たちに対する言葉がけを注意していただきたいと思うのです。

あと、竹の子掘りのときに、看護師の同行はされていませんよね。その理由としては20人の子供よりも園にいる100人の子供を見る必要があるからということだったのですが、山中では、もし、何か緊急事態、ハチに刺されたり、竹が突き刺さったりとか、動物に襲われるというようなことがあったときに、電波状況が悪いので、救急車の要請ができないことも考えられるのです。

そのときに、今まで看護師の同行はなかったということで、では、今回、引率された4人の先生は応急処置とかの知識があるので看護師の同行はさせなかったということなのでしょう。

(法人) 後で、看護師さんの同行は今までやっていましたよと聞いたのですけども、そうなのですかということで、実際、3、4、5で行ったりとかする場合には、看護師さんを連れていったりとかというのはあったのですけども、まず、竹の子山というのは自然が相手なので、山の手入れなんかも、僕自身も実際やっていますし、子供たちが入る山のところと、大人が入らなければならないところと明確に分けていますし、本当に、竹の子の整地をするのに、切る切り株なんかも、やっぱりチェーンソーで切ったら、切るのが真っすぐ切ると斜めに切ったらこけた時、危ないので、そういうところなんかの配慮とかも、できる限りしたりとか、だから、山でどこに斜面があるなど、大体、頭の中に入っているのです。

現実的には、もう4つの保育園が今回、山に入っているのです、次、行ったときは、どこを採ろうとか、どの辺で遊ばそうとかというのを決めたり、電波についても駐車場が隣接なので、駐車場のところに来たら、バスを止めるところに来たら電波が届きますし、そこからすぐに山のところに入りますので、だから、余り子供たちも初めてのところなので、どうしても「わっ」となってしまったら、要は、山では一歩一歩、足をしっかり踏みしめて、遊びじゃなしに、走ったら危ないので。

だから、そういう声かけの中で話をさせていただいて、怖がる子が

いたことに対しては、不適切だと思うのですけども、でも、それをもって、そういう自然に親しむことが、保育士たちがみんな委縮してしまって、行けないようになることじゃなしに、やっぱり経験としてさせてあげられることについては、そういう経験もさせてあげて、その中で、今、ご意見を賜ったことが色々あります。

それについては、今後の糧として、また、看護師さんを連れて行けるときには、そうやってさせていただいたり、色々、配置を組んだりとかというときにはさせていただきたいと思います。

だから、決して、初めて行くところに行って、無法図に遊ばすというのじゃなしに、僕自身も何回も手入れをして、自分たちでどういうところに生えている、どういうふうな斜面があるとか、どこにカブトムシの幼虫がいるとか、そういうことがみんな分かって、連れていっているところではございます。

そこは、私どもは山へ行ったり、自分のところの農園に行ったり、おとのはのところへ行ったりというのは、全て子供が出来るような仕様というのを長年のノウハウの中でやっていますので、ですから、そこは、できれば色々、お叱りもあつたりということについては、今後の糧にはさせていただきたいとは思っているのですけども、ぜひ、萎縮して次、もう連れて行くの嫌だと思わすようなことだけはないような感じで、子供たちもできたら…。

(保護者) ただ、その声かけでは、子供たちは、今後、山に行きたいとは思わなくなるでしょうし、今回、民営化になってまだ2週間しかたっていない、保育士さんたちは、子供の把握ができているとは思えない状態での竹の子掘りだったと思うのです。

山の把握はしているかも知れませんが、子供の把握をしてないし、それで応急処置の知識があるのかどうかというのが、すごく不安になったのですが、これは、応急処置の知識があるから、看護師を同行させずに行かれたのですよね。

(法 人) ですから、初めて、そのアレルギーの件はあつたのですよ。それ以外で今まで、すり傷したりとか…。

(保護者) 今まで無かったかも知れない、今後、あるかも知れないので、応急処置の知識があるのかないのかだけ、教えていただけますか。

(法 人) 僕が付いていくということであれば、ありますのでさせていただきたいと思います。できると思います。

(保護者) 応急処置の知識がある方をね。今回は、たまたま、じん麻疹だけだったかも知れないけども、アナフィラキシーショックを起こした

場合とかは、どうするつもりだったのですか。その竹の子山から駐車場に行くのに何分ぐらいかかりますか。

(法 人) 前なのです。前。

(保護者) 目の前なのですか。

(法 人) 目の前にあるのです。

そこから駐車場、車を降りたら、もうゲートがあって、そこからもう前があるので、そこから 300 メートルぐらい山がある中で、やれるようなところに設定しているのです。

(保護者) 今後、緊急事態が起こる可能性も考えて、今後は、看護師の同行とかも考えていつていただきたいと思うので、よろしく願います。

(法 人) はい。

また、保護者の方もそういうところに、また、来られるようなことも、していただいたり、おいでいただいたりしたらいいと思うのです。

今回、西川の方が、ぜひ、4月の初めしか（竹の子が）採れないのです。

だから、本来だったら、早いから、もう辞めておこうかというのは簡単なのです。

でも、西川の方が、また、担任の方が、ぜひ、子供たちが喜ぶので行きたいということだったので、そしたら、とりあえず行こうかということなのです、実際は。

(保護者) 行ったらいいと思います。いい経験というか、本当にもう少なくなっているじゃないですか、こういうことができるのとか。

うちの子は幸い、とても楽しかったし、ただの運転手じゃない人がっていう、何か、そのフレーズが、何かあったのか、ただの運転手じゃありませんとか言って、それが、私は、後で、理事長先生が運転手やったということを聞いて、びっくりしていたのですが、竹で色々なことも作れるし、何か、カブトムシのこととかも言っていました。

ただ、その山に入ると（山でしゃべったら大きな動物に襲われる）というのは、本当の話ですか。それとも、子供たちを落ちついて静かに行かすための。

(法 人) ゾーンは、子供たちが行くところは、確かに整備してやっています。奥に行ったらけっこう深いのです。

(保護者) 出てくる可能性があるということですか。本当のことですか。

(法 人) そこまではないのですが、でも、タヌキやウサギやそういうのは、いるのです。

(保護者) 山ですからね。

(法 人) 実際には、いるのです。

(保護者) その山に入る約束って、絶対あると思うのですよ。

その園外に出るわけですから、園と同じ生活ではないと思うのです。そこは前日に、きっと担任が、きっちり下ろしているはずじゃないですか。次の日の見通しとして。

それを、わざわざ理事長さんが、襲われるよみたいな声かけをしなくても、5歳児になったら、きっちり約束を守って、一つの目標に向かって進めると思うのです。

そこが、やっぱり私は、そのSさんのお子さんのことを聞いたときに、全く、そんな思いをしなくて済んだのに、子供さん自身は、山に入るときの注意を聞けば、その方向に向かって歩けたであろうに、そのことは、本当に、何か、子供のことを思うと、すごくかわいそうやったなと思うのです。

(法 人) 僕も、逆に、そのときに初めてライオン組さんとお会いさせていただいて、初めてのバスだから、バスの中で、別に、黙れとかっていうのでなしに、初めてのバスだったから、バスでワイワイして、最後のコンビニがあるのです、近づくところの。

そこでトイレをしたら、そこからもうないので、そこから山に入るバージョンになるので、そこからお話をさせていただいて、だから、もっと竹の子掘りに行く前に、ライオン組さんと僕も、また、お話をしておいたらよかったなというのは、ものすごく、子供の心情的には思っているのです。

(保護者) 理事長さんと担任が打ち合わせをすることはあるのですか。

(法 人) もう、何回も行っているので、僕たちの、ここ3人は、分かっています。

(保護者) その僕たち3人と、今回、新たにライオン組という新しい子たちを連れていくにあたって、身体面で配慮がいる子もいますよね。そういうあたりの確認点は全員でしているのですよね。

(法 人) そこは、もう、もちろん分かっています。聞いています。

(保護者) その山の約束も、みんな、きっと一緒だったのですよね。

(法 人) ただ、ですから心情的なものを踏まえたら、僕もちょっと、子供たちに、そんな話を事前にしていたら良かったかなというのはあったので、だから、たまたま、初めて運転して、最後に運転手ではありませんというフレーズになってしまって、それが、分かって運転するということやったら良かったのかなというふうな思いを持って

います。

だから、これからでも、やっぱり、それでやらないというのではなしに、バスにまた乗れる機会も作ってあげたり、色々、また、自然に親しめるところも作ってあげたりという中で、色々、また、出来ることは、させていただきたいと思っています。

(保護者) ただ、でも、準備不足だったことは、きっと多かったと思うのです。竹の子は、アレルギーが出るのは多分、みんな分かっていると思うのです。

(法人) それは、もう分かっています、もちろん。

(保護者) 今まで、出なかったから、出ないであろうという憶測は、保育園の行事としては、やっぱり少し配慮不足だと思います。なので、そのときのことは、やっぱり考えて、その2週間、新クラスが始まって、2週間という短い期間で、行く決断をしたのであれば、それに対してしなければいけなかったことは、もう少し、いっぱいあったように思います。

(法人) ですから、アレルギーのことについては、ちょっと、本当に申し訳なかったなというのとはとても思っているのです。

(保護者) 看護師も、園内にいる子は、やっぱり、安全に守られたこの施設の中にいるので、すり傷とかはあっても、すごいことがない限りは、そんなに救急を要することって、まれかなと思うのですが、園外に出るときは、やっぱり、色んな危険が伴うと思うのですよ。

なので、その残った子たちよりも、やっぱり園外に出るときに、救急の体制をとっておくのは、理事長さんもお持ちだとはおっしゃっていますけど、やっぱり、ちょっと看護師を配置してもらうのを考えていただきたいなと思います。

(法人) はい。

(保護者) 次、役所の方は、民営化になっても、大きな環境の変化がないようにとおっしゃっていましたが、1月から3月まで法人保育士さんが入っていましたが、1月は週に3回、2月は週に4回、3月は週に6回で、マックス52日間で、6クラスあるのに、入っている法人の保育士は、5人の保育士しかいなかったし、ローテーションだったので、もう少し、少ない日数でしか入っていないと思うのです。

だから、子供たちは、4月になって、先生になつくことができず、4月1日からの出来ごと、1か月で、簡単ですが、園庭で遊んでいて顔をすりむいて、すごく痛かったと思うのですが、先生に言えずに、ずっと我慢している子がいたり、4月1日の役員会のときに、

役員会なのでということで、子供の保育をお願いしていたのに、何度も部屋から出て、玄関で泣いている子供がいて、子供を知っている保護者が会議をやっているところまで連れてきてくれたりして、今後、ちゃんと保育をやってもらえるのかという不安の声を聞きましたし、政治的戦略で弱者がこれだけ困っていることを役所の方は知ってもらいたいと思います。

(保護者) それともう1つあります。

1歳児クラスで、保育士が保育士を怒鳴っているのが気になるという声が上がっていきまして、朝、私、時間が結構9時ぎりぎりとか、9時過ぎとかで、ちょっと行ってしまうことが多いのですが、朝から色々、先生方もしないといけないことがいっぱいあって、時間にせかされてしまうところもあると思うのですが、今まで、うちは、ひよこ組から入っているのですが、先生が、子供たちの前で怒鳴っているというような状況はなくて、きっと、今まで来ていた子たちは、その先生が大きい声を出している状況というのは多分、ちょっと、まだ小さいし、びっくりすると思うので、何か、時間が早く何かしないと時間がないからみたいな感じで、すごい言っているのが、何回か聞いたことがあったので、そういうのを見てしまうと、その先生を見た子供たちは、もう怖いイメージ、ふだん私たちは、昼間、見ていないので、その先生と子供たちがどういうふうな接し方をしているかというところまでは分からないのですが、きっとどっかで、この先生はちょっと大きい声を出す、ちょっと怖い先生というのがあるかも知れないので、実際、うちの子は、その先生を見ると、もう朝も入っていかない状態で、ずっとひよこ組のときからお世話になっている先生じゃないと、ちょっと部屋に入らない状況が、まだ、今も続いているので、ちょっとそういう大きな声を出したりというのは、控えていただきたいというのがあるので、その辺を、すみませんがお願いします。

それと、卒園式が早い理由ですね。

例年は、第3土曜日であったり、来年は、年間行事予定を見させてもらったら3月14日になっていたのですが、これは何か理由があるのかなと。

(法人) 園の希望としても、第3土曜日が希望なのですけれども、カレンダーを見たら、祝日になっていきまして、祝日に執り行うのがいいのか、でも、今まで鮎川保育所でされた年間行事予定表とか見させていただいたら、土曜日が基本になっていて、祝日というのは、基本、今まで、行事もやっていませんでしたということを知っています。

したので、そうすると、やっぱり土曜日しかないなっていうふうに思ったのです。

第2にするか、最終の第4土曜日の卒園式にするかは考えたのですが、第4にしてしまうと、少し、ちょっと遅いのかなって。

遅いかなっていうのは、3月の末になりますので、卒園する子供たちのことと、次年度、受け入れる子供たちの運営と言いますか、お部屋を、誘導的に、次の進級するクラスに子供たちが馴染むように、移動させてりとかという、もろもろの流れを考えますと、第4は、やっぱり、ちょっと遅いのじゃないかなということで、第2にさせていただきました。

予定なので、先日、ちょっと張り出しもさせていただいたと思うのですが、運動会の日程を年間行事予定で10月4日というふうに予定表の方では、お渡しさせていただいたと思うのですが、ちょっと話が、それでも大丈夫ですか、すみません。

この日程に決めましたのも、今まで、鮎川保育所さんの運動会の日程が、10月の第1土曜日であったということ、まず基本にして、校区内の小学校の運動会の日程と重ならないようにということで、この日だったということで、今年もさせていただきました。

ただ、今年、白川小学校の方が、10月4日に運動会をされるということが分かりまして、学校の方に、再度、問い合わせたら、例年9月末か、別日にされていたみたいなのですが、今年度に限って、ちょっと10月4日の土曜日に運動会をされるということが分かりまして、ここは、校区内の子供たちがたくさん通ってらっしゃいますし、お兄ちゃん、お姉ちゃんがいらっしゃるの、ちょっと運動会の日程を変更しようかなと考えています。

ですので、行事予定表としてお渡ししましたので、そういった調整などをしながら、行事の方はさせていただきたいと考えています。

(保護者) また、分かり次第、張り出ししてもらおうという感じですか。

(法人) はい、させていただきます。

(保護者) はい、わかりました。

(法人) ちょっといいですか。

基本的には、公立保育所の行事に則ってというので、土曜日にさせていただいているのですが、基本は土曜日なのですね。

日曜日とかの開催とかっていうのは、されてないのですよね。

それもなしでということで、基本は土曜日ですね。

土曜日が無理だったら、平日の開催というふうに。

( 市 ) 前は、25 日っていうふうに決まっていたのですが、最終週の土曜日の方が保護者の参加がしやすいというので、土曜日に、ただ、今年度が、公立の土曜日が忙しいので、25 日の月曜日に、また戻ったりしています。

(法 人) 平日ですか。

( 市 ) 参加がお父さんも、お母さんも、おじいちゃんも、おばあちゃんもいることなので、土曜日にしてもらった方が、保護者の方が助かるかなというのがあります。

(法 人) 基本的な考え方は、これでいきたいなと思っているのですけれども、やっていますね。

(保護者) すみません、この三者協議をするのに、市の方に相談しなかったのですが、民営化になったことで、保護者の声は、一定の方からは聞こえてくるのですが、もう絶対的にアンケートをとって、どういうふうに思っているのかというのを把握してから、三者に入りたかったので、すみません、独断でアンケートをしてしまって申し訳ないです。

このアンケートは、27 部、回収したのですが、大半、「保育士の先生に丁寧に見てもらっている」ということの感謝へのアンケートがすごく多くて、「そんなに大きなことを感じていません」という意見もあったのですが、その中で、ちょっと聞きたいなと思うことだけ、ここのところに載っています。

児童表とか、新たに説明があったと思うのですが、あそこに色々書く、同じようなことを書く書類が、すごくいっぱいあったなというのが思うのですが、あれは、やっぱり、あれだけ枚数が要るのですか。

(法 人) 児童表と問診票に関して、問診票の方は、そのまま園の先生に見てもらって、その子の出産時の状況から、全て把握した上で見ていただくということで、分けていたのですが、確かに、このお話をお伺いしたときに、健康の記録であったりだとか、児童表であったり、問診票の、この3つのところに同じことを書いていただかないといけないところがあったりしましたので、今後、検討して、できるだけ大切なことだけ残して、それ以外のことは、ちょっと簡素化じゃないのですが、そういうふうに整理したいなと考えています。

今回は、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

(保護者) 出産時の様子とか、ちょっと不快と言いますか、そう感じられた

お家の方もおられたようなのですが、やっぱり要りますかね、出産の様子というのですか。

(法人) 出産の様子というのは、0歳児、1歳児のお子様に関して、問診票の方で書いていただくことになっていたのですけれども、その理由として、現状、お預かりしているお子様の体重が何キロ、このお子さんは月齢から見ると、ちょっと体重が少ないねとなるけれども、出産の状況を見させていただいたときに、ちょっと早産だったのだとかを見ると、トータルで見ると、お子さんの成長が、もう少し見守ってもいいのじゃないかなというふうなことが把握しやすいということで記入していただいたのです。

保育所入所の問診票の方にも、そのような書き方があるのですが、ちょっと、表現の仕方が違いましたので、そこの部分に関しては、先ほどの書類と同様に、少し、また見直し、検討はしていきたいなと思っています。

もしかしたら、そういった特別な要件では、書いていただくことになるかも知れません。

(保護者) 次です。担任の先生が、他のクラスの保育士になることというのは、結構、頻繁にありますか。

(法人) 今後、各クラスの保育士が、きっちり運営できるようになれば、移動をすることはなくなると思うのですけれども、この初めの4月、5月、6月っていう中で、職員もローテーションになっていきますので、確かに、平日にどうしてもローテーションの関係で職員がお休みする場合も出てきています。

職員の担任の構成というのは、主のリーダー保育士がいて、その下に、新卒の職員がいたり、経験のある職員がいたり、色んな形で構成されているのですけれども、そのリーダーの保育士が、やっぱりローテーションの関係で、ないようにしているのですが、お休みをしてしまうとクラス運営が、どうしても、これから勉強はさせますが、新人の職員と、その職員だけではどうしても運営が、ちょっと難しいなと思うクラスに関しましては、ちょっと職員を別のところから異動して、運営に当たらせるということを、これから、もうしばらくあるかも知れません。

もちろん、新人の職員や、そういうようなことがないように、職員の指導も研修などを重ねてやっていきたいと思っておりますので、ご不安な思いをさせてしまったことに関しては、申し訳ないですけれども、もうしばらくあるかと思っております。

(保護者) あまり何か想像できないような、私自身は、想像できないような感じですか。

やっぱり、クラスの保育士は、1年間の見通しを立てて、その週のこともしっかりしていくのかなと思うので、でも、そのどっかのクラスが、ちょっと力不足のところがあるっていうのが、確かなのであれば、そこは、もう幼児リーダーの先生なり、乳児のリーダーがカバーしていくのかなとは思いますが、でも、あまり保育の状態としては、そういう保育士がクラスをまとめていくというのは、よくないなというふうには思います。

さっきの朝夕のこともお伺いしたので、次ですね。

外遊び、朝夕の外遊びは、同じような感じですか。何か、少なく感じますというのが、アンケートの中で出ていたのです。同じような感じですか。

(法人) そうですね、初めは、現状を引き継いで、その時間でやるというふうに思っていたのですが、実際、4月1日に始まりまして、子供たちの状態とかを把握する中で、なかなか、その時間に外遊びをさせてあげる職員配置も、うまく回らなかつたりだとかすることがあったので、ちょっと外遊びの時間が少なくなっていたのは確かです。

1か月たって、子供たちが安全に遊べるためには、どうしたらいいのかなという、職員会議も何度か重ねていまして、色々な意見も職員から出てきましたし、少しずつ時間を長くして、今、やっと現状、ほぼ、今までどおりの時間帯で遊べるような感じになっています。

(保護者) そうですよ、最初、もう5時には、もう普通に部屋遊びが始まっていたのに、5時半までいつも遊ばせてくれていたのにというのはあったのですが、この頃は、5時半ぐらいまで遊んでくれるので、段々といいかなと。

(法人) 努力していくようにはします。

(保護者) 次です。

次は、さっきの1歳児クラスさんの方が、アンケートの中にも2件入っていました。

T先生と園長先生は、ご存知でしたか、そのことは。

(法人) はい。その職員、保育を2人とも見えていますので、少し、ちょっと保育を運営するに当たって、ちょっとしんどいところがあるのかなとか、ここがちょっとうまく流れてないなということがありましたので、その担任と、ちょっと話をしましたりだとか、少しでも、

できるようにと人員に余裕があるときは、そのクラスに入れたりだとかというふうな配慮はしてきました。

ただ、先ほどお母さんがおっしゃったように、言葉がけというのが、人員をたくさん配置したから、どうこうのじゃないと思うのです。

そこは、人員を配置しても、そういう言葉が出てしまうようではいけませんので、保育する上での大切なところだったりだとか、役割がもっとスムーズにいくための方法を的確に助言、アドバイスしていくとか、そういうような方法でクラスを運営させていきたいなと思っています。

(保護者) 怒鳴っている先生は、O先生なのですよ。

そのO先生が、その新人の先生を呼び出して、ぶちぶち言ったりとかしているらしく、T先生が、O先生に注意するのは、微妙に難しいのじゃないのかな、大丈夫なのかなという、すごく不安な部分が。

(法人) T先生は、穏やかに見えるのですけれども、やっぱり乳児主任という責任を持って、職務に当たってもらっていますので、そこは若いながらも、職務に一生懸命やってくれているなというふうに(思います)。

T先生が指導しているのも私も見えています。

T先生にも、もちろん指導させていますし、それがうまく流れなかったら、どういう点なのか、私も実際に見たりだとか、T先生の言い方がちゃんと伝わっているのか、それに対して、その職員がどういうふうに受けとめているのかというのを見るのも、やっぱり私の仕事ですので、そこは見て、T先生が足りなかったところは、私の方から直接、指導する方法をとっていますので。

(保護者) O先生がいることで、その新卒の先生が辞めたり、T先生が潰れちゃったりしたら大変だなと思って。

(法人) そうですね。大切な職員ですので。

(保護者) それぞれの役割って、やっぱり保育士のリーダーに立っているのであれば、しないといけないことというのは、年齢ではなく、あるのかなと思うし、乳児は1人の保育士の動きって、すごく大きくあるだろうし、でも、人的な環境を、乳児はすごく受けるので、この声が、やっぱり保護者から出たというのは、やっぱり、ちょっともう一度、職員全体で考えてもらって、子供が泣いて、その先生に行かないというのは、やっぱりすごく悲しいことだと思うので、その環境はもう一度、考え直してもらいたいなと思います。

次が、散歩の行き先を前日に聞いたのですが、分からないと言

われたというのが、何で分からないのだろうって、そんなこと今までなかったのにというのがアンケートの中に書いてきて、私自身もそれはすごく不思議に思ったので、ちょっと案件に載せさせてもらったのです。

アンケートなので、クラスは、もう書いてもらわなかったのです。なので、ちょっと、どこかというのがはっきり分からないのですけれども、そういうことってありますか。

明日散歩に行く場所が明確になっていないという、それはないですよ。

(法 人) はい。

(保護者) なぜ、そういうふうに分からないって、返したかというのはちょっと分からないです。

(法 人) 前日に、子供たちに、明日、お散歩に行くよって、どこどこ行くという話をしたりというのは、前日に、必ず、子供たちとしているので。

(保護者) 散歩に行くのは、ライオン（5歳クラス）だけじゃないですよ。

ライオン（5歳クラス）も、キリン（4歳クラス）も、ウサギ（3歳クラス）も、もう行っていますよね。

(法 人) はい。

(保護者) パンダ、コアラ（2歳クラス）も行っていますか。

(法 人) 近くの…。

(法 人) はい、近く、周辺を。

(保護者) 近くに、パンダ、コアラ（2歳クラス）も行っていますか。それより下のクラスも出ていますか。

(法 人) そうですね。園の周辺に、バギーですけども。

(保護者) バギーで出ていますか。そしたら、どのクラスもあるということですよ。

(保護者) それ私かも知れないです。

(保護者) 保育士間の連携が出来ていないのじゃないのかなという部分ですよ。だから、4月1日に、「はい、こんにちは」という状態なので、なかなか保育士さん同士が、打ち解け合いにくいというのもあると思うのです。

(保護者) ペンギン（1歳クラス）ですね。そのペンギン（1歳クラス）の先生の人的配置のことを書かれている同じアンケートの用紙なので、ペンギン（1歳クラス）さんなのかなと思うのですけど。

(保護者) 1枚しか入ってなかったなので、キリン（4歳クラス）なのですよ。

ど。一緒に書きちゃったのですみません。

(保護者) 前の日、結構、うちの子、散歩とかもちゃんと、どこどこ行くって言っていたよって言って、楽しみにしていくみたいな、何か楽しみを持っていないと、なかなか動けないということとかもあるので、どこに行くのかな。

今までだったら、どこどこ行くって、ボードに書いていたのですよ。

次の日の行き先とかも、桑田公園に行きますとか、どこどこに行きますとか書いていて、それが、何も書いていなくて、お散歩に行くので、9時までに来てくださいとか、登所してくださいっていうのが、よく書かれてあるので、どこに行くのかなと思って先生に聞いたら、いや、ちょっと分からないんですって言われたので、何か、3人の先生がいるうちの1人は絶対知っているとは思うのですが、これから知らないのですというよりは、皆さん多分、園全体が知っていてほしいなというのもあるので、分からないという返答は。

(法人) お散歩に行く前は、必ず、初めてのところだと、下見も行かせていますし、行きたいと言っているけど、その日、お子さんのクラスの様子を見ていたら、ちょっとそこまで行くのはよくないのじゃないとか、場所を変更してねとかいう場合もあるのですけれども、そのまず、お散歩の行き先が職員間だけじゃなくて、保護者さんにも分かるように、そして、職員全体がどこに行くかというのを、明確に、これは連携不足ですので、以後、気を付けて、分からないというのじゃなくて、きちっと答えられるようにしていきますので、すみません。

(保護者) 何か、少し、園外に出るということに対して、配慮しないといけないことが出来ていないところが、こういうところに出ているのかなと、少し、今、思ったので、ちょっと外に出るということで、ついてくる危険を、もう少し、担任間で話し合っ、外に出てもらいたいなと思います。

あとは、登園許可書もアンケートの中に出ていて、許可書が要るものの、病気にかかって、もう明日から行けるというときに、前日に渡したのですが、次の日、登園したが、まだ出してもらってないのじゃないかなというのが、ノートにお手紙として挟んであったし、なお、かつ、その長時間の申し送りと言いますか、長時間の保育士からも、もらってないのじゃないかなみたいな声かけもあったということで、わざわざ前日に、明日から来られるのだということを伝えるに来ているのに、それが担任に伝わってないということが、なぜ

かを知りたいという、はっきりもう知りたいて書いてはったので、ここの案件に載せています。

(法 人) 登園許可書を受け取った者は誰であっても、受け取りましたよっという、職員の連絡表がありまして、何々クラスの何々ちゃん登園許可書を受け取りました。

何時いつから登園しますというのを、誰が見ても分かるような表を事務所の方に置いているのですけれども、これも本当に、保育士の連携ミスで申し訳なかったのですけれども、うちの職員の方が見落としをしまして、こちらの不手際で起こってしまいました。

もう、その保護者さんにとったら、前日に持ってきてくださったのに、再度そういうふうな形になって、申し訳なかったなと思っています。

(保護者) はい、以上です。

(議 長) ありがとうございます。

続きまして、議案の番号で言いますと、2番目までが今、終わったような状況です。

次、3番目になります。

その他といたしまして、引き継ぎ保育の現状について、窪田副主幹の方から、その概要について報告をお願いしたいと思います。

(市) 4月1日より、私と、看護師と、後、引き継ぎの保育士さん3名の、計5名で、月曜日から金曜日に、朝9時から夕方5時まで、引き継ぎ保育にあたっています。

早朝とか、土曜日も4月は来ていました。

それで、保育ね一通り、行って確認させていただいています。

日中クラスについては、主に1、2歳児なのですが、新入児と継続児が、環境の変化に慣れるまで、個別対応もかなり必要になってきますので、できる限り看護師と、私と会議をしながら、乳児の引き継ぎ保育士も入りながら、保育の応援をしまいいりました。

特にうちは、衛生面と安全面を重視して、保育室の使い方や食事の仕方、排せつ、アレルギーの誤食がないように、後、生活も遊びも含めて、見守りをさせていただいています。

折々で気になる点があれば、もうその時点でアドバイスをさせていただいたり、後で、詳しくこういうふうにやっていたよ、こうしたらスムーズにくのではないかという説明もさせてもらっています。

うちは先ほども出ていましたけど、保育士の動きが子供の安全安心につながりますので、スムーズな動きができるように会議を通してよ

く話し合いながら、伝えるのは一人一人になるのですが、クラス担任に続いて共有してほしいということを伝えていっています。

そして、幼児クラス3、4、5歳以上については、前年度の色々な生活や遊びの取り組み内容を、行事も含めて伝えていきます。

今年度、一つずつ、みんな大きくなって、クラスの部屋も変わっているということで、担任の先生が子供の状況をしっかり把握されて、こういうふうな取り組みの仕方になっていますということも報告を受けながら、それなら大丈夫ですね、そういう形でやってもらってもいいですよということで、担任と引き継ぎ保育士が、すごく連携をしっかりと取りながら、そのよく相談をしてくれるので、こちらも色々なアドバイスとか、やり方の工夫とかも返しながら、行事も一つ一つ丁寧に引き継いで行っているように見受けられます。

本当に、個別対応とか、要配慮児についてもこういう対応の仕方でいいですかということ必ず、確認、聞いてくれるので、去年とは違うやり方でやっているのも、こういう狙いですということも聞いているので、それで大丈夫だと思いますということで、私たちも共感しながら返すという場面もあるというふうなうちの引き継ぎ保育士からも聞いています。

後は、一つ一つの、特には、4月からの入園式、誕生会、お話し会、子供の日の集い、縦割りランチ、お散歩も含めて、縦割りのリトミックとかも、あと月曜日の週の幼児集会とかも、公立、去年までのやり方をしっかり把握していただいて、また、それに工夫も加えながら、子供たちの気持ちに寄り添いながら、保育を一生懸命に取り組んでいただいている姿が見受けられますので、今後も、こちらも子供たちができるだけ担任の先生に、もちろん、合同保育で幼児の子供たちは、すごく先生に親しんでいるみたいで、心配はないですけど、できるだけ、やっぱり担任が主体で、子供たちと関わってもらえるように、私たちも4月のどっぷり入っているのはちょっと引いて、5月ぐらいから見守る形でアドバイスをさせていただいています。

一つ一つが、もう新しい行事となって1年間を通して、全部が新しいと思うので、全て細かく、ここはちょっと危ないなとか、やり方がおかしいなというところは、遠慮なく、こちらも言わせていただいたり、伝えたことをきちっと、また、報告を言ってくれたりしていますので、連携が取れていると思っています。

子供に負担が、一番いかないようにという形で、させていただいています。

あとは、看護師の、元々、私立と公立の看護師の業務というか、任務というものが、私たちもちょっと違うのだなというのを感じながら、取り組んでいるけど、公立の保護者に対する看護師さんへの思いというのは、かなり、やっぱり責任を専門職ということで、信頼を持っているということ、ちょっと伝えながら、そういう心情的な部分を、ちょっと違うかなというのは、私も4月、5月を通じて感じているので、ちょっと捉え方が違う部分で、こういう色んな不満とか思いがある中というのを感じているので、どんどんお伝えしていかないといけないのかなと思っています。

また、よろしくお願ひします。以上です。

(議 長) ありがとうございます。そしたら、園長先生、何か、補足とかよろしいですか。

(法 人) 大丈夫です。

(議 長) 分かりました。

以上で、本日の案件が、終了した形になります。

その他に、何かございましたら、承りたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

( 市 ) すみません、色々ご迷惑をお掛けしますけれども、決して、法人さんをフォローするわけじゃないのですが、いつもお電話でとかあったりして、しっかりと理事長先生とも、西川園長先生ともお話をさせていただく中で、法人さんは決して、多分、ちょっと伝わるのが、誤解を与えたりしているところはあるかも知れないですけど、子供たちのためというのには考えていただいています。

民営化が4月に始まって、ちょうど1か月が経ちます。

今後、やっぱり保護者の方と信頼関係を、これから構築していかないといけないかなというふうに思っていますので、その辺はしっかりと、保護者の方を初め、法人さんとしっかりと連携をしてやっていきたいと思っていますので、また、何かございましたら、メールでも結構ですので、ご意見をいただきましたら、しっかりとお伝えするところはお伝えして、連携させていただくところは連携させていただきたいと思っておりますので、今後とも、よろしくお願ひいたします。

以上です。

(議 長) それでは、本日の案件全て終了いたしました。本日の三者協議会を閉会とさせていただきますというふうに思います。

本日は長時間にわたりまして、本当にありがとうございました。

